

三重県ジュニアポイントランキング(JPR) 高校生ポイント表

大会名/成績		1	2	3	4	5	6	7	8	9~15	16	32	
県内大会	高校総体	100	90	80	70	60	50	45	40	35	20	10	
	中部日本(J)予選										15	8	
	国体予選	100	90	80	70	60	50	45	40		20	10	
	新・国体予選※	100	90	80	70	60	50	40	30	20	10	5	
	高校選手権	80	70	60						30		15	8
	東海選手権(J)予選											15	8
	全日本(J)予選		90	80	70	60	50	45	40		20	10	
	三重県選手権(J)	100		80						40	20	10	
	学年別	50								20	10		
	東海総体	250	200							100			
県外大会	中部日本(J)	250	200	150						100	80	20	
	全国総体	1000	900	800						600	400	100	
	名古屋オープン(J)	250	200	150						100	80	20	
	東海選手権(J)	250	200	150						100	80	20	
	全日本(J)	1000	900	800						600	400	100	
	大阪オープン(J)	500	400	300						150	100	40	
	東京オープン(J)	1000	900	800						600	400	100	

※ 国体予選(一次トーナメント)は、ベスト4→9~16 ベスト8→16 ベスト16→32のポイントとする

三重県ジュニアポイントランキング(JPR) 中学生ポイント表

大会名/成績		1	2	3	4	5	6	7	8	9	16	32
県内大会	学年別1,2年の部	30	20	10						5		
	学年別3年の部	40	30	20						10		
	中体連県大会	40	30	20	18	16	14	12	10			
	全日本(C)U13予選	20	10	5								
	全日本(C)U14予選	20	10	5						3		
	三重県選手権(C)	40	30	20						10		
県外大会	中部日本(C)	100	90	80						40	20	10
	全中東海予選	200	150	130						70	35	
	全国中学	500	450	400						200	100	70
	東海選手権(C)	100	90	80						40	20	10
	全日本(C)	500	450	400						200	100	70
	名古屋オープン(C)	200	150	130						70	35	
	大阪オープン(C)	200	150	130						70	35	15
東京オープン(C)	500	450	400						200	100	70	

三重県ジュニアポイントランキング(JPR) 小学生ポイント表

大会名/成績		1	2	3	8
県外大会	全日本(H)	250	200	150	100
	中部日本(H)	50	40	30	15
	名古屋オープン(H)	100	90	80	40
	東海選手権(H)	50	40	30	15
	大阪オープン(H)	100	90	80	40

Aランク
Bランク
Cランク

高校生・ジュニアの試合におけるシードの決定と組み合わせについて

1. 順位の付け方について

- ・1年間の獲得ポイントの多い順に順位をつける。
- ・同ポイントの場合は、直前の高校生県内Aランクの試合のポイントの高いものが上位とし、それでも同ポイントなら順にAランクの試合をさかのぼって順位をつける。
- ・同ポイントで、1年通して県内Aランクの試合の成績も同じ場合は同順位とする。

2. 試合の組合せについて

- ・いずれの試合も当該試合の組み合わせ会議時のジュニアポイントランキング(JPR)にてシードを置く。
- ・順位の高い者からシードを置く。
- ・原則として32シードまで置き、それより下位についてはコンピュータ等で無作為に振り分ける。
- ・同一校対戦と、シード選手の直近の試合での再戦は以下の優先順位で対戦を避ける。
 - ①同一校の選手が同ブロックにいる場合はシードを下げ、同一校対戦を避ける。
(ただし、4・8・16・32を越えるようなシードの下げ方はしない)
 - ②高校生の県内大会において、シード選手が直近の試合で対戦している場合は、原則としてシードを下げ対戦を避けるが、第1~8シードについてはこの理由でシードを下げない。
(ただし、16・32を越えるようなシードの下げ方はしない)
- ・地区予選の結果順位は県大会には反映しない。

3. 各試合におけるシードについて

A. 高校総体

- ・3月31日のジュニアポイントランキング(JPR)の高校生上位8名までの選手は地区予選免除とする。
ただし、対象選手が出場しない場合は9番目以降より繰り上げる。
- ・ベスト8までトーナメント戦を行い、その後リーグ戦を行って順位を決める。
- ・ただし、JPRの高校生上位8名までの選手は8決定の試合で負けても、その結果を生かした上で2次リーグ戦に出場できる。(8決定までに負けた場合は2次リーグ戦に出場できない)
- ・ダブルスで前年度の高校選手権、全日本予選、三重県選手権においてベスト4以上に入ったペアは地区予選免除とする。

B. 中部日本予選

- ・ベスト16までトーナメント戦で行う。
- ・予選免除者(昨年度本大会ランキング保持者、高校総体上位進出による被推薦者、中学3年生の被推薦者)は予選通過最高ポイントを与える。

変更しました

C. 国民体育大会県予選

- ・組み合わせ会議時のJPR中学3年生以上上の最上位1名は選考会免除で代表となる。また、それに次ぐ選手が700ポイントを超えている場合はその選手も選考会免除で代表となる。
- ・上記選考会免除となる選手に次ぐ上位4名は1次予選を免除となる。
- ・1次予選はトーナメント戦で行い2名を決定し、2次予選は上記4名と合わせて6名によるリーグ戦を行う。
- ・対象選手が出場しない場合は、順次繰り上げる。
- ・本県出身のJOCエリートアカデミー(EA)に在籍する選手が対象者にいた場合、2次予選から参加できる。
なお、JOCEAIに在籍する選手の結果はポイント順位より除外し、それ以下の選手を繰り上げる。

D. 高校選手権

- ・6月30日のJPRの高校生上位8名までの選手と、国体2次予選進出者は地区予選免除とする。(繰り上げなし)
- ・決勝までトーナメント戦で行う。

E. 東海予選

- ・ベスト16までトーナメント戦で行う。
- ・予選免除者(昨年度本大会ランキング保持者、組み合わせ会議時のJPRが8位までの選手)は、予選通過最高ポイントを与える。

F. 全日本予選

- ・ベスト8までトーナメント戦を行い、その後8名によるリーグ戦を行う。
- ・予選免除者(昨年度本大会ランキング保持者)は予選通過最高ポイントを与える。
- ・カデットの部でポイントを得ている選手がジュニアの部に出場してポイントを得た場合、どちらか高いポイントを得た方を採用する。

G. 三重県選手権

- ・決勝までトーナメント戦で行なう。

H. 学年別(新人戦個人)の部

- ・11月30日のJPRが、高校1,2年生を合わせて上位8名の選手は地区予選免除とする。
- ・決勝までトーナメント戦で行う。

4. ポイントの消滅について

- ・各試合が終了した時点で、昨年度のポイントは消滅し今年度のポイントが加算される。ただし高校3年生の「中部日本予選」および「中部日本」のポイントは「高校選手権」が終了した時点で消滅する。
- ・高校1年生の中学3年生時のポイントは以下の試合が終了した時点で消滅し今年度のポイントが加算される。

A. 「学年別3年生の部」→「中部日本予選」

B. 「中体連県大会」、「全中東海予選」、「全国中学」→「高校選手権」

C. 「中部日本カデット」→「中部日本ジュニア」

D. 「全日本カデットU14予選」→「全日本ジュニア予選」

E. 「東海選手権カデット」→「東海選手権ジュニア」

F. 「全日本カデット」→「全日本ジュニア」

G. 「名古屋オープンカデット」→「名古屋オープンジュニア」

H. 「大阪オープンカデット」→「大阪オープンジュニア」

I. 「東京オープンカデット」→「東京オープンジュニア」

5. ダブルスの組み合わせについて

A. 高校総体

以下の順序でシードをおく。

- ①前年度「三重県選手権ダブルスの部」1, 2位
- ②前年度「全日本選手権予選ダブルスの部」1, 2位
- ③前年度「高校選手権ダブルスの部」1, 2位
- ④前年度「三重県選手権ダブルスの部」3位
- ⑤前年度「全日本選手権予選ダブルスの部」3, 4位
- ⑥前年度「高校選手権ダブルスの部」3位
- ⑦ペアを組む二人のジュニアポイントの合計が多いペアから順に第8シードまで埋める
- ⑧前年度「高校選手権ダブルスの部」ベスト8
- ⑨前年度「高校選手権ダブルスの部」ベスト8以上の選手同士で組み替えたペア
- ⑩ペアを組む二人のジュニアポイントの合計が多いペアから順に第32シードまで埋める

B. 高校選手権

以下の順序でシードをおく。

- ①「高校総体」のベスト8のペア
- ②ペアを組む二人のジュニアポイントの合計が多い順に第8シードまで埋める
- ③「高校総体」のベスト8以上の選手同士で組み替えたペア
- ④ペアを組む二人のジュニアポイントの合計が多い順に第32シードまで埋める